



(表紙より)する次第です。しかし、財団への寄付といえ、あくまでも寄付です。自分の提供した資金がどのように使われているかを見極めることも重要です。2710地区の皆様にとりましては、今後と

も、財団の財政基盤を安定のための財団への協力とともに、DDF、WFの資金をしっかりと活用し、各クラブとしての奉仕の枠を大きく広げられんことを強く望む次第です。



ロータリー財団月間に寄せて

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 ロータリー財団カウンセラー **松本 茂太郎**

11月はロータリー財団月間です。1917年アーチクラブによってロータリー財団の前身がスタートしました。そして、2017年に100周年を迎えます。

2015-16年度のロータリー財団管理委員長は、レイ・クリンギンスミス氏です。

ロータリー財団の具体的な目標は、「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」と言う3つの項目を柱としたロータリーの戦略計画を定める為、2015年7月1日に始まる3年間の目標が提案されました。これらの目標は、今後の進捗状況に応じて、変更が加えられる事があります。

そして、優先事項は、

- 1、永久にポリオを撲滅する。
- 2、ロータリー財団に対するロータリーアンの知識、参加、寄付を向上させる。
- 3、財団の補助金と6つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
- 4、ポリオプラスにおける成果と「世界で良いこと」をしてきた100年の歴史に特に注目し、財団によるこれまでの実績に対するイメージと認識を高める。

の4つの優先事項です。

・ナイジェリアでの快挙 ポリオのない1年

野生型ポリオウイルスが常在するアフリカのナイジェリアで、発症例が報告されてから丸1年経過しました。それからさらに2年間の無発生期間が継続されれば、世界保健機構(WHO)によってポリオ常在国リストからはずされ、ポリオフリーが認定される事になります、残りは、パキスタンとアフ

ガニスタンの2カ国になります。

本年度東ガバナーの財団目標は、年次寄付一人150ドル以上、ポリオ・プラス1人35ドル以上、ベネファクター クラブ1人以上又は、恒久基金への寄付1,000ドル以上、そして、ロータリーカードへの理解と普及です。

又、寄付をしますと税制上の優遇措置がありますので、事務局にお尋ね下さい。オンラインでの寄付もできます。

そして、私が地区のコーディネーターをしています、ポール・ハリス・ソサエティー (PHS)と言う寄付もあります。「世界でよいこと」を末永く支えるために、これは、ロータリーの創始者、ポール・ハリスにちなんでなづけられました。年次寄付、ポリオプラス、財団が承認したプロジェクトに毎年1,000ドル以上をご支援くださる方を認証するプログラムです。入会されますと、PHSの襟ピンが贈られます。

日本中で寄付ゼロクラブをなくそうと言われてます。ご寄付のどよろしくお願い致します。

今年も又、地区ロータリー財団委員会の担当により、グループ別の勉強会をします。それぞれクラブの財団委員長は出席義務です、ご参加をよろしくお願い致します。

毎月RI日本事務局から地区に送付され、各クラブに転送されます「財団室NEWS」に最新情報が掲載されていますので、お読み下さい。そこから財団のリソースのウェブページや資料に入れますので、参考にして下さい。



青少年交換受入学生・帰国学生歓迎懇親会 報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 青少年交換委員会 委員長 **福田 信二 (宇部RC)**

8月30日ホテルグランヴィア広島で青少年交換プログラム帰国学生・受入学生歓迎懇親会を開催しました。帰国学生5名(1名病欠)、受入学生3名カウンセラー、ホストファミリーも交えて、行いました。初めての家庭から離れた、異文化の中の生活で確かな成長を遂げた4人の帰国学生、これは同時

に親にとっても大きな変化をもたらしていることを感じ取ることができました。新たに来日した3人の学生も希望に胸を膨らませています。今年度は派遣学生を含め、有意義な留学生活を送り、元気で帰国できることを心から祈りながら、微力を尽くしたいと思っています。

青少年交換留学報告

2014-15年度 青少年交換派遣学生 **市岡 大河 (スポンサークラブ:長門RC)**

私は一年間アメリカへ交換留学をさせていただきました。この一年間を通して私は語学のみならず多くのことを学ぶことができました。しかし、楽しいばかりの留学生活ではありませんでした。着いた当初はもちろん英語は話せず、学校でも友達はありませんでした。そんな中でも励ましてくれた日本の家族や、友達、また現地のホストファミリーの方たちのおかげで何度も立ち直ることができました。それから言葉に少しずつ慣れていくにつれて友達の数も増えてきました。また、友達と休日にNBA観戦などもしました。この出会いは私の一生の宝物です。私の交換留学



は多くの人の支えと応援で充実したものとなりました。本当にこのような素晴らしい経験をするチャンスくれたロータリーの方々や、支援してくれた両親や、応援していただいた多くの方に感謝をし、この経験をまた次の交換留学生へと伝えていきたいです。



青少年交換留学報告

2014-15年度 青少年交換派遣学生 **松村 僚悟 (スポンサークラブ:萩RC)**

2014-15年度ロータリー青少年交換留学生としてアメリカのワシントン州に留学させていただいた松村僚悟です。正直、楽しかったことよりもつらく苦労したことの方が多かった一年間だったと思います。僕が一番苦労したのはコミュニケーションでした。言語の違いはもちろんのこと、文化やユーモアのの違いから言語の壁を越えるの意思疎通というの僕には困難でした。自分の気持ちがうまく伝わらないことなど多々ありました。しかし僕はこのような経験が自分にとって大きな財産になることを信じながらなるべく周りには笑顔を見せて生活していました。そのおかげか周りからは「君の笑顔は素敵だ」とよく言われました。こういうこと



をきっかけにして友達を作ることができました。そして自分に少しだけ自信を持つことができるようになりました。留学において僕が最も大切だと思うのはかけがえのない人との出会いだと思います。人との出会いが僕を成長させ、留学を意味のあるものにしたと思っています。この先も人との出会いを大切に、そこから国際交流の場で力を発揮できるような人間になっていきたいと思っています。最後にこのような大変貴重な機会を与えてくださったロータリークラブに感謝申し上げます。ありがとうございました。



青少年交換留学報告

2014-15年度 青少年交換派遣学生 志田 結 (スポンサークラブ: 山口RC)

皆さん、こんにちは。私は、2015-16年度ロータリー青少年交換留学生としてフランスのリヨンに住んでいました。今思うと私の留学生生活は本当に充実していたなと思います。もちろん言語の壁や文化の違いなどで辛いことも本当に多かったです。ですが、それ以上に楽しいこともたくさんありました。特に学校は毎日通うのがとても楽しかったです。私の高校はリセ・アンペールというリヨンでも歴史ある高校に通っていました。ここでは日本語クラスという日本語や日本語



化について学ぶ授業がありました。そのクラスの先生が本当に良い方で、習字や着物、日本料理などの文化を皆に紹介することもできました。そこで得た、本当に多くの素晴らしい友人たちは一生の財産だと思います。このような経験をできたのはずっと私を支えてくれたロータリアンの皆さんのおかげです。本当にありがとうございます。これから私の留学経験を多くの人々に発信していければと思います。



青少年交換留学報告

2014-15年度 青少年交換派遣学生 楠木 亜朱利 (スポンサークラブ: 広島西RC)

メキシコに派遣させていただいた楠木亜朱利です。ベラクルス州というところの中でも海岸のあるポカデルリオというところに行きました。この名前を直訳すると湖の口という意味で湖が海と繋がる場所でした。

行った当初はスペイン語がほとんどわからなくて、すごい不安になってしまったり、ホームシックになったが周りの人達が私楽しく過ごせるようにと努力してくれました。友達やホストファミリーの会話や授業にもついていけるようになって、毎日楽しく過ごしていました。またロータリーの色々な



イベントで世界中から来た留学生とも仲良くできて、たくさんの文化に触れることもできました。学校、ホストファミリー、留学生、ロータリー、道で話しかけてくれた人のおかげでたくさんのお大切な出会いがありました。日本、メキシコでお世話になってきた人達に感謝の気持ちでいっぱいです。この一年間が自分の中で本当に貴重な経験でしたが、この機会を与えてくださったことロータリーに大変感謝しています。



青少年交換留学報告

2014-15年度 青少年交換派遣学生 原 正宏 (スポンサークラブ: 広島西RC)

私はこの度、アメリカ合衆国のロサンゼルス近郊のムーアパークという街に一年間行かせていただきました。安全な場所で気候も良く、とてもいい街でした。ホストファミリーにも恵まれ、とても充実した留学生活でした。

この留学生活の中で特に印象に残ったのは、留学の締めくくりに参加した、アメリカ一周旅行です。この旅行には世界中の国からの留学生、総勢47人が参加しており、サンフランシスコやニューヨークなどの主要都市をAmtrakという電車で周る旅でした。この旅行を通してアメリカの広さを実感するとともに、様々な民族から成り立っていることがよくわかりました。また、出身国によっての価値観や、



考え方の違いなども大変勉強になりました。ロータリーの皆様、このような貴重な機会を与えてくださりありがとうございました。今回の経験を生かし、これからは国際社会に貢献できる人間になれるよう努力していこうと思います。



ガバナーエレクト研修セミナー (GETS) 報告

2015-16年度 国際ロータリー第2710地区 ガバナーエレクト 田原 榮一

2015-16年度ガバナーエレクト研修セミナー (GETS)が、平成27年9月1日(火)、2日(水)の2日間、グランドプリンス新高輪にて開催された。

GETSは、全体会議 (配偶者同席) とグループ討議から構成され、全部で20のセッションを含むハードな企画でした。

初日9時からの全体会議では、全国の34地区からガバナーエレクト全員が参加のもと、GETS研修チーム・メンバーの紹介の後、杉谷卓紀RI理事から歓迎の挨拶、そして藤林豊明GETS研修チームリーダーからGETS開催趣旨説明がありました。次いで、坂本俊雄ポリオ撲滅コーディネーターから「ポリオ撲滅の現状と今後」において「3年未満の会員の11%がポリオを知らない」との報告には驚きました。又、「地区ガバナーの責務」において、杉谷RI理事から、「ロータリー研究会に若いロータリアン、特にガバナー補佐を地区から少なくとも10名参加して頂きたい」との要請がありました。次いで「クラブが会員増強を強化するには」のパネルディスカッションにおいて、辰野克彦第1第2第3ゾーン地区別会員増強計画プロジェクトリーダーが、日本のリーダーである「ロータリーコーディネーター」を大いに利用して欲しいとの依頼があったことを報告します。

グループ討議では、グループが2群に17名ずつ分かれて、「地区を成功に導くリーダーシップ ガバナー編 2016-17年度」の目次に従い、「戦略計画の立案」、「会員基盤の充実」、「クラブとのコミュニケーション」、「地区リーダーシップチーム」、「リーダーの育成」、「クラブ訪問を最大限に生かす」等の課題において、それぞれRLI形式或いは3-4名にグルー

プ形式でお互いに討議しました。次いで、全体会議 (配偶者同席) では、橋本長平ロータリーの友委員会委員長から、「ロータリーの友」について概説があり、一日のスケジュールが終了。夕食懇親会では、ガバナーエレクトと配偶者の自己紹介を含めて和やかな交流を深めることが出来ました。

二日目8時30分から、「ロータリー事務局からの支援」についての説明の後、「公共イメージの向上のために」につて渡邊俊彦RPICが、次いで「ロータリー財団の概要」について岩淵 均RRFCが、それぞれ概説。更に、グループ討議に入り、「ロータリーの公共イメージ」、「財団チームと協力」、そして「寄付と補助金」について研修。その時、地区補助基金の地区によるシステムの違いがあることを知りました。全体会議 (配偶者同席) では、「ロータリー米山記念奨学会プログラム」について、小沢一彦理事長から概説があり、次いで「ロータリー学友からメッセージ」の2題の内、「日本とネパールの架け橋として」について、講演したRI 2590地区米山奨学会学友 ジギャン・クマル・タバ氏が引用したパウロ・フレイレ (Paulo Freire、ブラジルの教育者) の言葉「人間として生きるということは、他者そして世界との関わり合いを引き受けることである」は、ロータリーの哲学と同じであり、感銘しました。

研修内容は、総花的であり、かなり重複がみられ、今後は講演者同士の内容についての打ち合わせが必要ではないかと愚考しました。また、34名中まったく挨拶できない人がいたことも残念でした。しかし、今度のGETSは、来年1月の国際協議会に向けての準備に役に立つものであり、杉谷RI理事他関係各位に心から感謝の意を表したいと思います。

「関東・東北豪雨災害義捐金」に関する報告

この度の「関東・東北豪雨災害義捐金」に関しましては、たくさんのご協力をいただきありがとうございました。皆様からいただきました義捐金総額3,440,510円は、10月7日に第2820地区 (茨城)へ送金いたしましたのでご報告いたします。

ガバナー 東良輝



クラブ別ロータリー財団寄付状況

2015年7月1日～9月30日

Table with 6 columns: G, クラブ名, 年次基金, 使途指定寄付, 恒久基金, 合計. Lists 100+ clubs across 12 groups.

Table with 6 columns: G, クラブ名, 年次基金, 使途指定寄付, 恒久基金, 合計. Lists 100+ clubs across 12 groups.

国際ロータリー第2710地区 2015-16年度 74RCの会員増減・出席率

2015年9月度

Table with 10 columns: グループ, クラブ名, 例会数, 出席率(%), 会員数. Includes sub-headers for attendance and membership.

Table with 10 columns: グループ, クラブ名, 例会数, 出席率(%), 会員数. Includes sub-headers for attendance and membership.

